お客さま本位の業務運営に関する取組状況

２０２５年３月期

高知銀行

２０２５年7月１０日

２０２４年度
お客さま本位の業務運営に関する取組状況について

高知銀行（取締役頭取 河合祐子）は、地域の発展と暮らしの向上に貢献することを経営理念に掲げ、役職員一同これを共有し、質の高い金融サービスの提供に取り組んでおります。

お客さまの資産形成や資産運用におきましては、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を策定し、本方針に基づいた業務運営を実践しております。

このたび、２０２４年度のお客さま本位の業務運営に関する取組状況をお知らせいたします。

これからも、お客さまの最善の利益を追求し、ご提案をより良いものとし、より多くのお客さまに満足していただけるよう取り組むとともに、お客さまに取組状況を分かりやすくご確認いただけるよう定期的に公表してまいります。

※本取組状況に表示している【原則２～７】は、金融庁公表の「顧客本位の業務運営に関する原則」に対応しております。
なお、当行は金融商品の組成に携わっていないため、「プロダクトガバナンスに関する補充原則」1～５に該当する項目はございません。

高知銀行

お客さまの最善の利益を意識したサービスの提供

❶ 最適・最良な金融商品・サービスの提供

金融商品のご提案にあたっては、お客さまの知識・経験・財産の状況および投資の目的・運用方針等を十分にお伺いし、お客さまの最善の利益の実現に向け、最適かつ最良な金融商品・サービスを提供してまいります。

❷ 良質な商品ラインアップの整備

幅広いお客さまに適切な商品を選択していただけるよう、特定の商品提供会社に偏らない、良質な商品のラインアップを整備してまいります。

❸ 安定的な資産運用・資産形成の実現

お客さまの安定的な資産運用、資産形成を実現していただくため、中長期分散投資に資する商品の提案を行ってまいります。

❹ 販売状況の検証と適切な管理

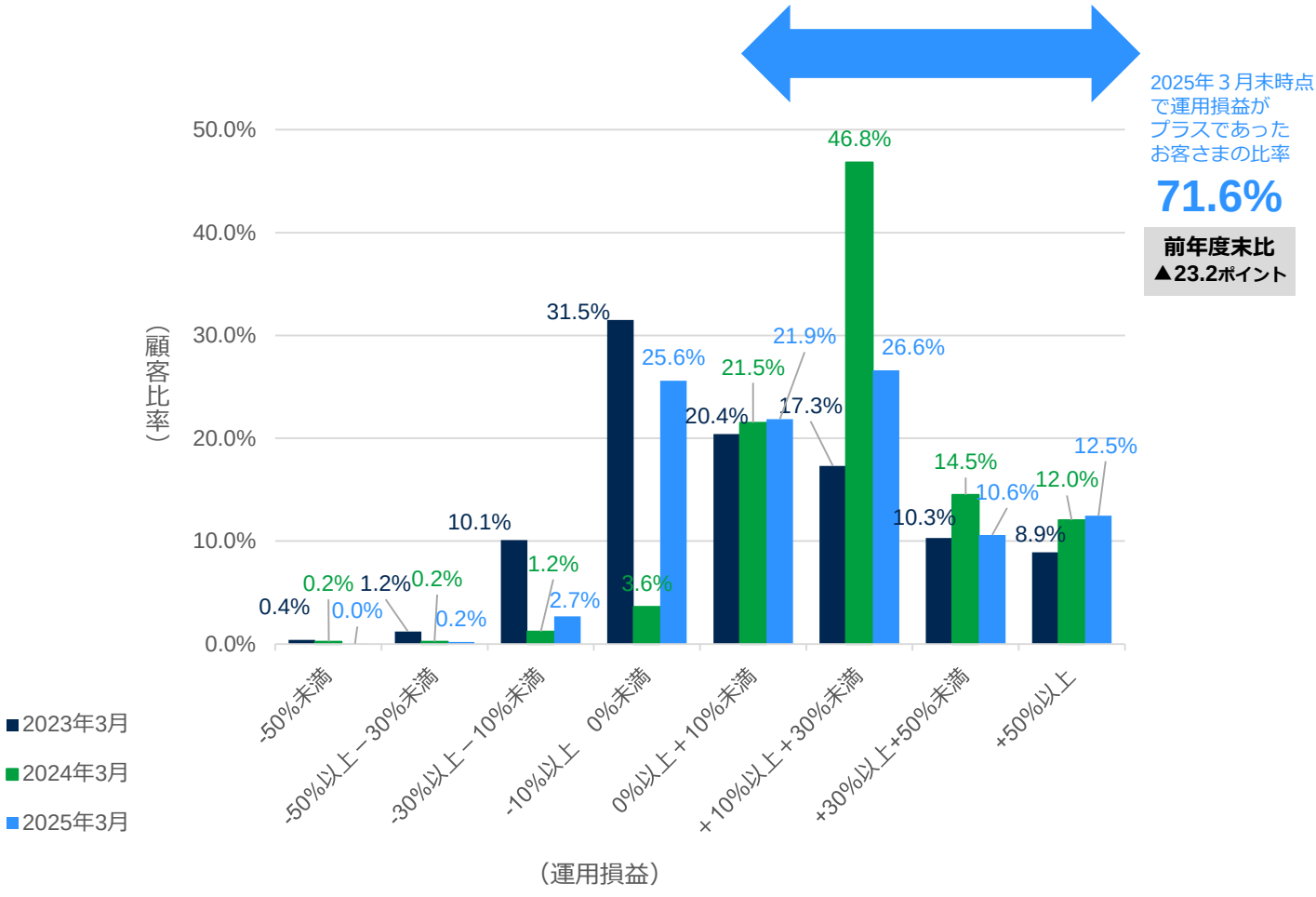
過度な乗換販売や手数料等の高い金融商品の優先販売が生じないよう、販売状況を検証し、その結果を踏まえて適切な管理を行ってまいります。

1．運用損益・評価別顧客比率 （共通KPI） 【原則２】

（１） 投資信託の運用損益別顧客比率

- 下表は、それぞれの年度末時点で投資信託を保有されているお客さまの運用損益別の指標です。
- 運用損益は、保有投資信託に係る購入時以降の累積運用損益（分配金を含む手数料控除後）を算出しております。
- 今年度は、Ｓ＆Ｐ５００が６.８０%の上昇となったものの、国内市場では日経平均株価が１１.７７%の下落となりました。新ＮＩＳＡが始まり、含み益のある残高を解約し、恒久的な非課税口座で買いなおす動きもあり、運用損益がプラスであったお客さまの比率は昨年より２３.２ポイント下回り、７１.６%となりました。

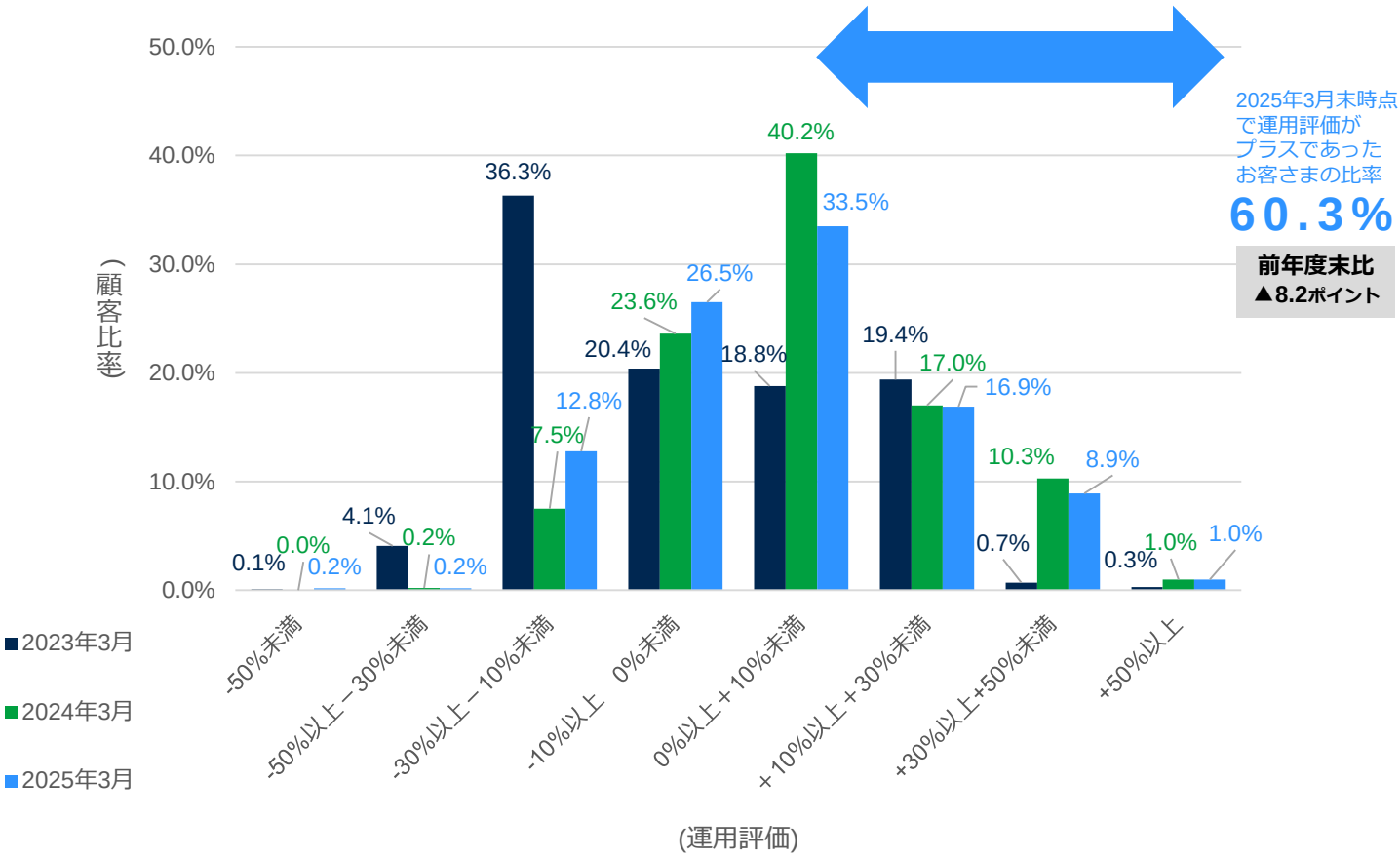
投資信託を保有されているお客さまの運用損益別指標
（各年度末時点）



（２）外貨建保険の運用評価別顧客比率

- 下表は、年度末時点で外貨建一時払保険を保有されている各お客さまについて、購入時以降の累積リターン率（年度末時点の損益を契約時点の一時払保険料で除したもの）を算出し、全てのお客さまを１００％とした場合のリターン別の分布を示したものです。
- ２０２５年３月末時点では、全体の６０.３％のお客さまの運用評価がプラスとなっております。

外貨建一時払保険を保有されているお客さまの運用評価別指標
（各年度末時点）



≪保険商品としての保障性について≫

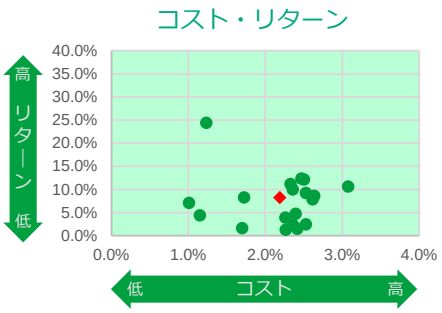
- 外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合が多くあります。

- 解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

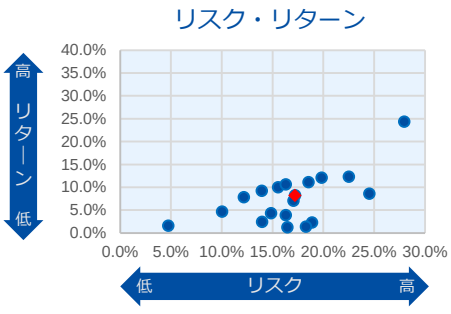
2. 投資信託預り資産上位20銘柄の コスト・リターン/リスク・リターン（共通KPI）【原則２】

- 下表は、投資信託の預り残高上位２０銘柄（設定後５年以上）について、銘柄ごとに預り残高加重平均のコストとリターンの関係および リスクとリターンの関係を示した指標です。
- ２０２４年度は、残高上位２０銘柄の残高加重平均値は、コスト１.９６%、リスク１５.２５%、リターン１７.０７%でした。残高加重平均リターン値が５.００%上がったことにより、すべての銘柄のリターンがコストを上回りました。今後も優れたリターンが期待できるファンドをラインアップし、実績の向上に努めてまいります。

2022年度

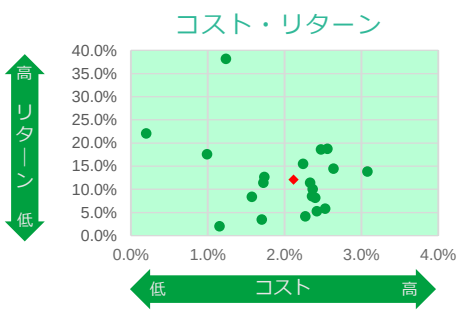


残高加重平均値◆	コスト	リターン
	2.19%	8.22%

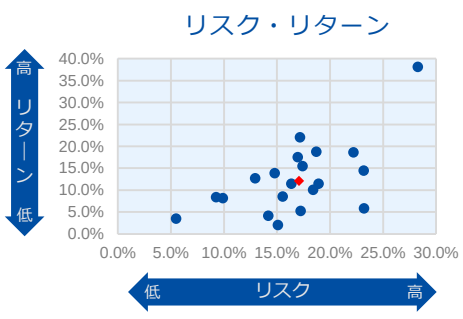


残高加重平均値◆	リスク	リターン
	17.18%	8.22%

2023年度

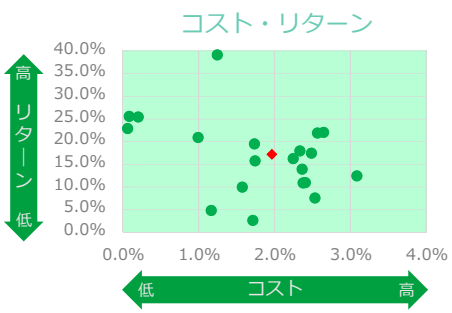


残高加重平均値◆	コスト	リターン
	2.13%	12.07%

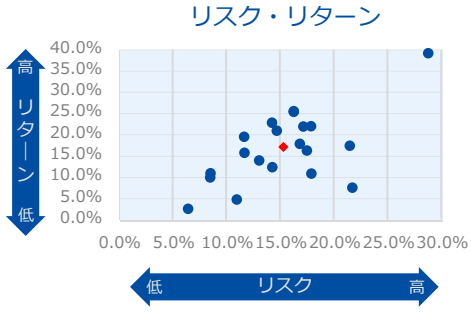


残高加重平均値◆	リスク	リターン
	17.08%	12.07%

2024年度



残高加重平均値◆	コスト	リターン
	1.96%	17.07%



残高加重平均値◆	リスク	リターン
	15.25%	17.07%

2. 投資信託預り資産上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（共通KPI）【原則２】

（2025年3月末時点）

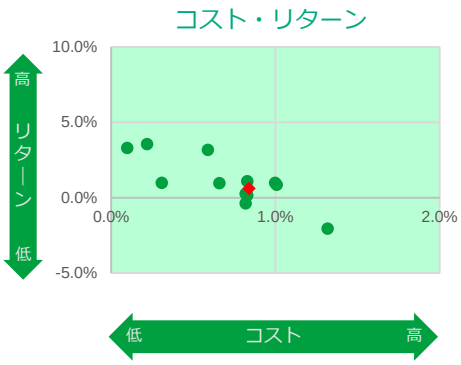
	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	ダイワＵＳ－ＲＥＩＴオープンＢコース（為替ヘッジなし）	2.33	16.77	17.8
2	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド	2.36	12.99	13.82
3	米国株式配当貴族（年４回決算型）	0.99	14.62	20.83
4	ニッセイ宇宙関連グローバル株式ファンド（年２回・ヘッジなし）	2.56	17.11	21.82
5	グローバル・ヘルスケア＆バイオ・ファンド	3.08	14.21	12.31
6	のむラップ・ファンド（普通型）	1.57	8.43	9.83
7	のむラップ・ファンド（積極型）	1.74	11.61	15.64
8	ロボット・テクノロジー関連株ファンド	2.48	21.43	17.33
9	ニッセイＳＤＧｓグローバルファンド（年２回決算型・ヘッジなし）	2.24	17.42	16.17
10	インド債券ファンド	2.4	8.48	10.81
11	Ｊ－ＲＥＩＴパッケージ	1.16	10.92	4.69
12	ＦＡＮＧ＋　インデックス・オープン	1.24	28.72	39.03
13	ハリスグローバルバリュー株オープン（年１回決算型）	2.64	17.81	21.91
14	ジャパン・ロボティクス株式ファンド（年２回決算型）	2.37	17.86	10.8
15	ｅＭＡＸＩＳ　Ｓｌｉｍ　全世界株式（オール・カントリー）	0.06	14.19	22.77
16	ｅＭＡＸＩＳ　Ｓｌｉｍ　米国株式（Ｓ＆Ｐ５００）	0.08	16.2	25.47
17	ｉＦｒｅｅ　Ｓ＆Ｐ５００インデックス	0.2	16.2	25.29
18	グローバル・ソブリン・オープン	1.71	6.37	2.49
19	アムンディ世界好配当株式ファンド	1.73	11.59	19.42
20	ＭＨＡＭ新興成長株オープン	2.53	21.66	7.48

※ コストは販売手数料率（消費税込）の1/5と信託報酬率の合計値、リスクは過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）、リターンは過去5年間のトータルリターン（年率換算）です。
※ 残高加重平均値とは各銘柄残高のウェイトを加味して平均値を算出したものです。
※ 標準偏差とはリスクを数値化するもので、数値が大きいほどリスクが大きく、小さければリスクが小さいことになります。
※ リターンにコストは含まれておりません。

3. 外貨建保険の銘柄別コスト・リターン（共通KPI）【原則２】

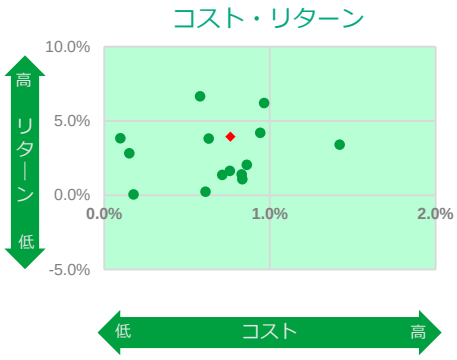
- 下表は、外貨建一時払保険の各銘柄について、平均コスト（※1）と平均リターン（※2）の関係を図表上に示したものです。
- 対象銘柄は、対象となる契約にかかる年度末時点の解約返戻金額と年度末時点の既支払金額の合計額に基づき表示しております。
- ２０２４年度の加重平均値は、コスト０.７１%に対しリターン３.６２%となっております。

2022年度



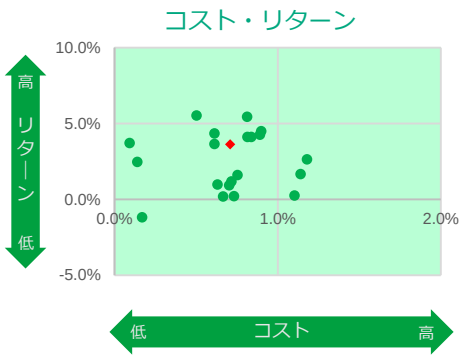
加重平均値◆	コスト	リターン
	0.84%	0.60%

2023年度



加重平均値◆	コスト	リターン
	0.76%	3.92%

2024年度



加重平均値◆	コスト	リターン
	0.71%	3.62%

（2025年3月末時点）

	保険名称	コスト	リターン
1	夢のプレゼント	0.51%	5.53%
2	サニーガーデンＥＸ	0.84%	4.11%
3	生涯プレミアムワールド４	0.70%	0.94%
4	生涯プレミアムワールド５	0.82%	4.12%
5	三大陸	0.62%	3.66%
6	ロングドリームＧＯＬＤ２	0.81%	5.46%
7	ロングドリームＧＯＬＤ３	0.89%	4.26%
8	ロングドリームＧＯＬＤ	0.72%	1.18%
9	生涯プレミアムワールド３	0.63%	0.97%
１０	ダブルアカウントグローバル	0.73%	0.22%
１１	しあわせ、ずっと	0.75%	1.61%
１２	しあわせ、ずっと２	0.90%	4.50%
１３	デュアルドリーム	1.18%	2.65%
１４	夢のプレゼント２	0.61%	4.35%
１５	シリウスプラス	0.09%	3.72%
１６	あしたの、よろこび	1.14%	1.66%
１７	ファイブテン・ワールド	0.67%	0.19%
１８	モンターニュ	0.14%	2.47%
１９	モンターニュ２	0.17%	-1.19%
２０	あしたの、よろこび２	1.11%	0.27%

（※1）保険会社における当該銘柄の保有全契約のうち、保険契約開始から60カ月以上経過した契約（年度末時点で有効であるもの）を対象に、保険会社が算出した各契約に適用されている新契約手数料率（税抜）を年度末時点までの契約期間で除したものと年間の継続手数料率（税抜）を使用することで算出し、各契約のコスト率を各契約の契約時点の一時払保険料（円換算）で加重平均したものです。

（※2）年度末時点で保険契約開始から60カ月以上経過した契約（年度末時点で有効であるもの）について、年度末時点の損益を契約時点の一時払保険料で除したものを年率に換算し、各契約のリターン率を各契約の契約時点の一時払保険料（円換算）で加重平均したものです。

4. 投資信託ラインアップ・生命保険ラインアップ【原則６】

- お客さまに適切な商品を選択いただけるよう、商品の分かりやすさ、リスク・リターンや運用実績、お客さまにご負担いただく費用などを比較検討したうえで商品ラインアップを見直しするなどし、良質な商品ラインアップの整備に努めております。
- また、今後は投資信託の運用会社など金融商品の組成に携わる金融事業者（組成会社）との間で実効性のある緊密な情報連携を図るとともに、プロダクトガバナンス向上に向けた取組状況を把握し、製販全体としてより良い商品提供態勢の確立に取り組んでまいります。

2025年3月

投資信託

タイプ	商品数	比率
国内債券型	4	5.00%
国内株式型	14	17.50%
海外債券型	12	15.00%
海外株式型	27	33.75%
バランス型	16	20.00%
国内不動産投信	2	2.50%
海外不動産投信	4	5.00%
その他投信	1	1.25%
合計	80	100.00%

※販売停止商品は除く

生命保険

タイプ		商品数	比率
一時払	定額年金保険	2	28.57%
	変額年金保険	0	0.00%
	定額終身保険	5	71.43%
一時払合計		7	100.00%
平準払	終身保険	1	11.11%
	年金保険	2	22.22%
	定期保険	1	11.11%
	医療・がん保険	5	55.56%
平準払合計		9	100.00%

※販売休止商品・事業者向け商品は除く

5. 投資信託・生命保険販売上位10銘柄の推移【原則６】

- 金融商品の販売にあたっては、最適な商品やサービスのご提供ができるよう、組成会社が販売の対象として想定するお客さま属性などを踏まえたうえで、お客さまお一人お一人の知識、ご経験やニーズ、リスク許容度等を十分にお伺いし対応しております。

投資信託

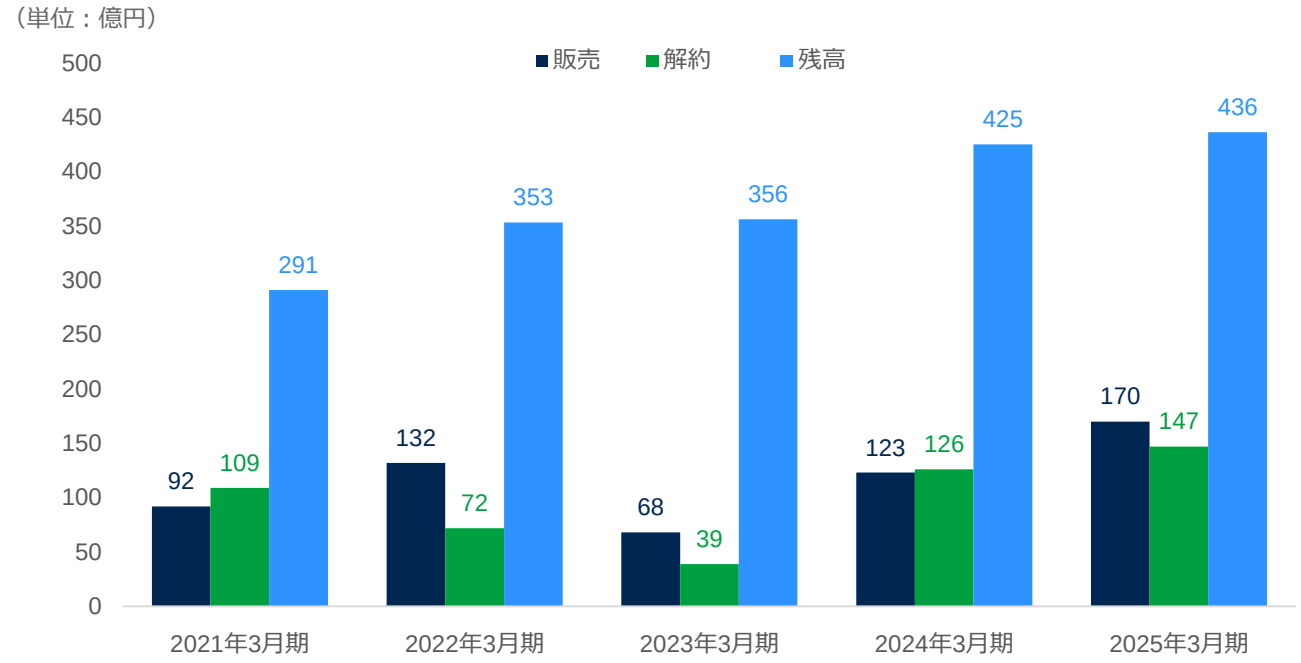
順位	２０２３年度 銘柄名	カテゴリー	２０２４年度 銘柄名	カテゴリー
1	ダイワ・ＵＳ-ＲＥＩＴ（毎月決算）Ｂ為替ヘッジなし	海外不動産投信	あおぞら・新グローバル分散F（限追）２０２４－０４	バランス型
2	米国株式配当貴族（年４回決算型）	海外株式型	ニッセイ宇宙関連グローバル株式ファンド（年２回・ヘッジなし）	海外株式型
3	インド債券ファンド（毎月分配型）	海外債券型	のむラップ・ファンド（普通型）	バランス型
4	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	海外株式型	あおぞら・新グローバル分散F（限追）２０２４－０７	バランス型
5	のむラップ・ファンド（普通型）	バランス型	米国株式配当貴族（年4回決算型）	海外株式型
6	ｉＦｒｅｅ　日経２２５インデックス	国内株式型	ニッセイ・メタバースワールド（予想分配型）	海外株式型
7	のむラップ・ファンド（積極型）	バランス型	のむラップ・ファンド（積極型）	バランス型
8	あおぞら・新グローバル分散Ｆ（限追）２０２３－０７	バランス型	FANG+　インデックス・オープン	海外株式型
9	あおぞら・新グローバル分散Ｆ（限追）２０２３－１０	バランス型	eMAXIS Slim　全世界株式（オール・カントリー）	海外株式型
10	ニッセイ・メタバースワールド（予想分配型）	海外株式型	eMAXIS Slim　米国株式（S&P500）	海外株式型

生命保険

順位	２０２３年度 商品名	カテゴリー	２０２４年度 商品名	カテゴリー
1	サニーガーデンEX	一時払定額終身保険（外貨）	ファイブテン・ワールド3、4	一時払定額年金保険（円貨）
2	ファイブテン・ワールド3	一時払定額年金保険（円貨）	ふるはーとＪロードグローバルⅢ	一時払定額終身保険（外貨）
3	生涯プレミアムワールド5	一時払定額終身保険（外貨）	サニーガーデンEX	一時払定額終身保険（外貨）
4	ふるはーとＪロードグローバルⅡ	一時払定額終身保険（外貨）	あしたの、よろこび2	一時払定額年金保険（外貨）
5	ロングドリームＧＯＬＤ3	一時払定額終身保険（外貨）	生涯プレミアムワールド5	一時払定額終身保険（外貨）
6	プレミアストーリー4	一時払定額終身保険（外貨）	ロングドリームＧＯＬＤ3	一時払定額終身保険（外貨）
7	ふるはーとＪロードプラス	一時払定額終身保険（円貨）	ふるはーとＪロードⅢ	一時払定額終身保険（円貨）
8	しあわせ、ずっと3	一時払定額終身保険（外貨）	しあわせ、ずっと3	一時払定額終身保険（外貨）
9	ビーウィズユープラスⅡ	一時払定額終身保険（外貨）	プレミアストーリー4	一時払定額終身保険（円貨）
10	プレミアストーリー4	一時払定額終身保険（円貨）	夢のかたちプラス	一時払定額終身保険（円貨）

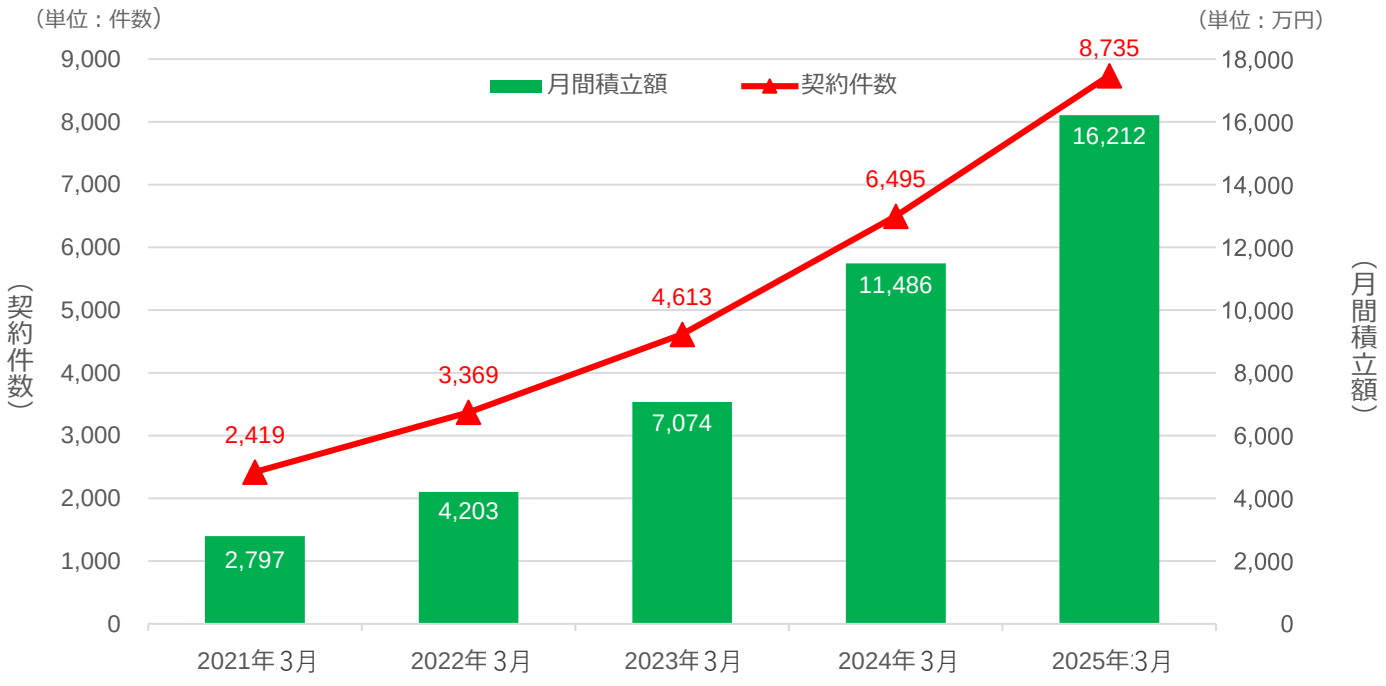
6. 投資信託　販売・解約・残高【原則６】

- ２０２５年３月期の販売額は前年と比較し４７億円増加、解約額も２１億円の増加となりました。残高につきましては１１億円増加し４３６億円となりました。今後もライフステージに応じた提案を行い、中長期的な資産形成のサポートをしてまいります。



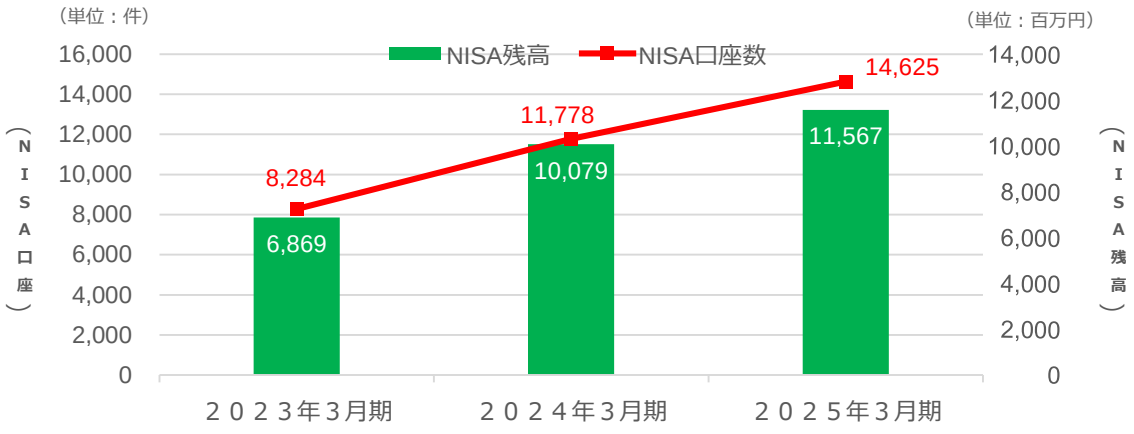
7. 積立投資信託の契約件数・月間積立額推移【原則６】

- 積立投資の必要性がより一層浸透してきたことで、積立投資信託を契約するお客さまが大きく増加し、２０２５年３月末の契約件数は前年と比較し２,２４０件増加の８,７３５件、また月間積立額は４,７２６万円増加し１６,２１２万円となりました。
- これからもお客さまの資産形成ニーズに合った対象商品等の拡充に取り組んでまいります。



8. ＮＩＳＡ口座数、残高の推移・投資信託残高に占めるＮＩＳＡ残高の割合【原則６】

- 非課税投資枠であるＮＩＳＡの提案を積極的に行っており、２０２５年３月期の口座数は前年と比較して２４.１%増加しております。また、残高につきましても前年と比較して１４.８%上昇し１１,５６７百万円となりました。
- 資産形成をお考えの方などに幅広く、長期・積立・分散投資を促進しております。

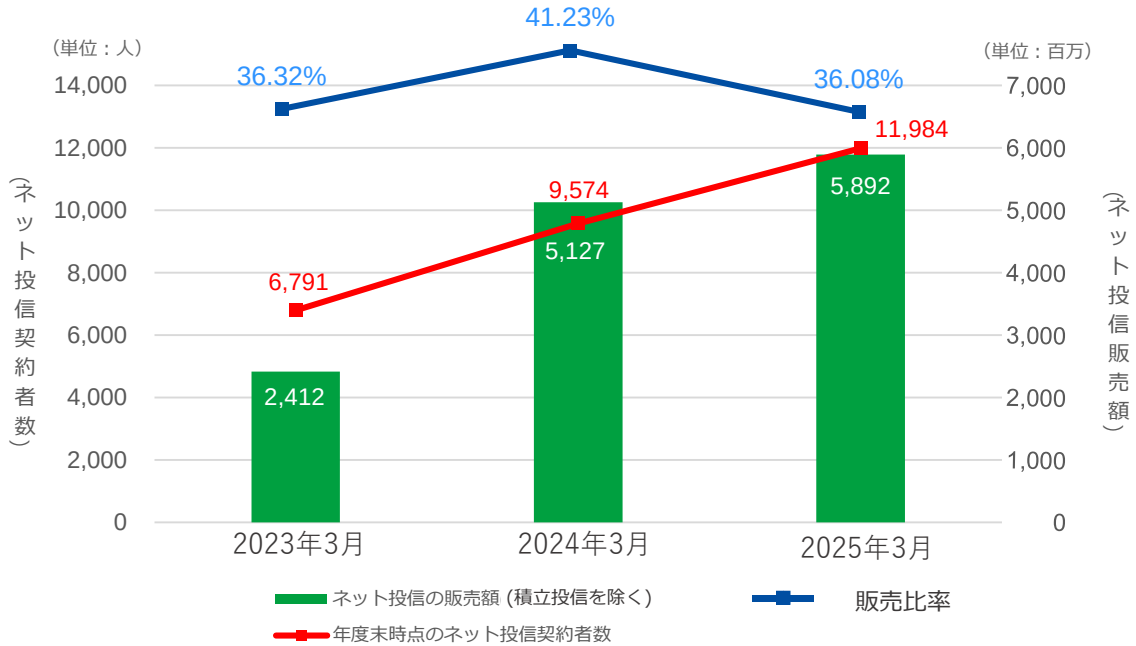


投資信託残高に占める、NISA残高の割合

	投資信託残高（百万円）	NISA残高（百万円）	割合（%）
２０２３年度	３５,５９１	６,８６９	１９.３０
２０２４年度	４２,５２１	１０,０７９	２３.７０
２０２５年度	４３,５９７	１１,５６７	２６.５３

9. インターネット投信契約者数、残高の推移・投資信託販売額に占める販売割合【原則６】

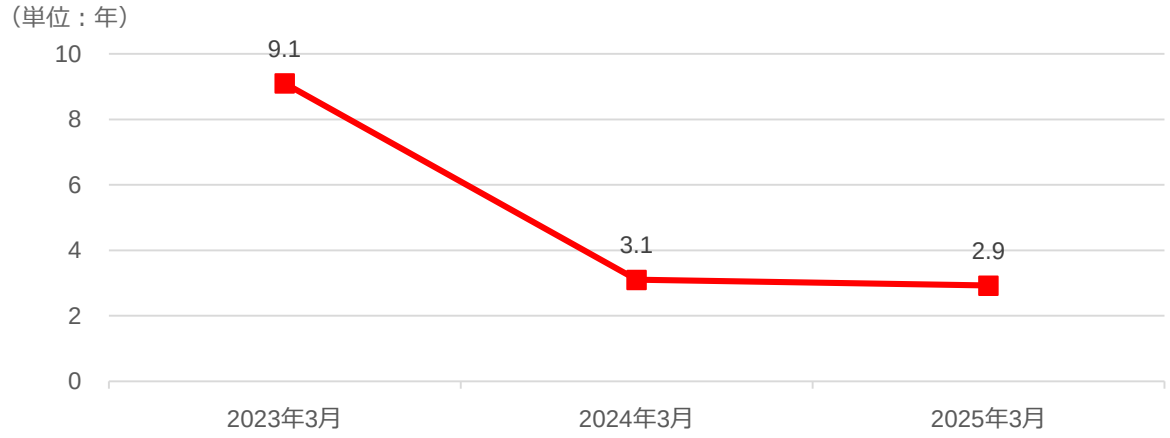
- インターネット投信の契約数が順調に増加しており、投資家の利便性や手軽さへの関心が高まっていることが背景にあると考えられます。今後もインターネット投信に関する情報提供の強化や操作性の向上などを通じてより多くのお客さまにご利用いただけるよう取り組んでまいります。



10.投資信託平均保有期間【原則６】

- 平均保有期間は、（前年度末残高＋当年度末残高）÷２÷（年間の解約額＋償還額）で算出しております。
- 投資信託平均保有期間は、２０２５年３月末時点では２.９年で、昨年末より０.２年短くなりました。主な要因としましては、限定追加型商品の目標達成による解約が増加したためです。今後もＮＩＳＡを活用した中長期的な資産形成をサポートしてまいります。

投資信託平均保有期間の推移
（各年度末時点）



11.利益相反の管理【原則３】

- 当行は「利益相反管理方針」を定め、法令等に従いお客さまの利益を不当に害することのないよう適正に業務を遂行しております。
- 商品導入時には、幅広い商品の中からお客さまの多様なニーズに対応できるよう、商品内容やリスク・リターン等を総合的に検討するとともに、利益相反の観点からも確認を行っております。
- 特定の商品提供会社に偏らない商品ラインアップを整備しております。
- 当行の同一グループ内に販売商品を供給する会社はございません。

お客さまの立場に立った情報提供

❶ わかりやすく丁寧な説明

お客さまに商品内容を十分にご理解いただけるよう、商品の基本的な仕組み、リスク、手数料等について、わかりやすく平易な言葉を用いて、各種資料やモバイル端末等を活用し、丁寧に説明してまいります。

❷ お客さまのご年齢・投資経験・リスク許容度を踏まえた対応

金融商品をご提案するにあたっては、お客さまのご年齢・投資経験・リスク許容度を踏まえ、お客さまにとってふさわしい商品であるかを検討し、特にご高齢のお客さまへのご説明の際は、ご家族・ご親族の同席をお願いする等慎重に対応してまいります。

❸ 各種手数料等、費用に関する説明

各種手数料等の費用については、可能なものは料率に加え金額を説明するとともに、どのようなサービスの対価として当該手数料をいただくのかを説明してまいります。

❹ お客さまの課題解決に向けたセミナー等の開催

資産運用セミナー、相続セミナー、資産形成層向けライフプランセミナー等を開催し、お客さまの課題解決に向けた情報提供を実施してまいります。

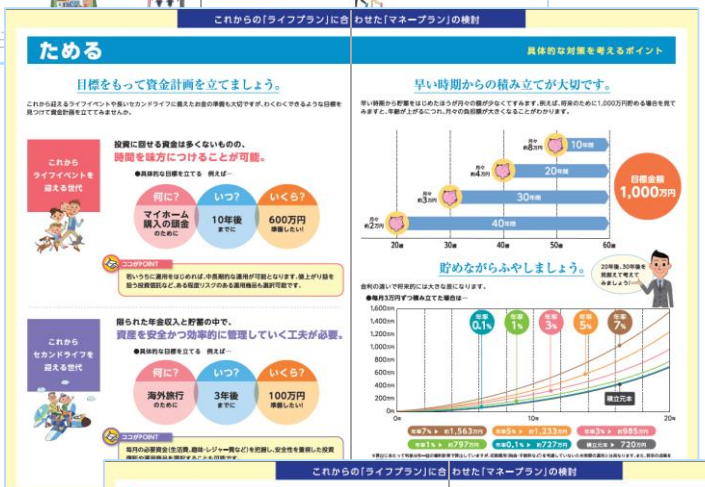
❺ お客さまの立場に立ったアフターフォローの実施

ご契約後も市場動向の現状や見通し等について、各種資料やモバイル端末等を活用し、丁寧に情報提供するとともに、お客さまの立場に立ったアフターフォローを行ってまいります。

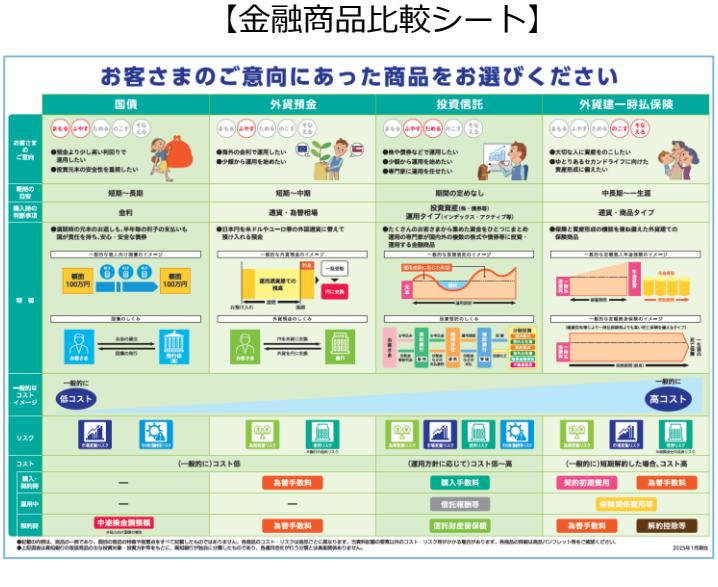
12.お客さまの立場に立った情報のわかりやすい提供と手数料に関する説明【原則４・５】

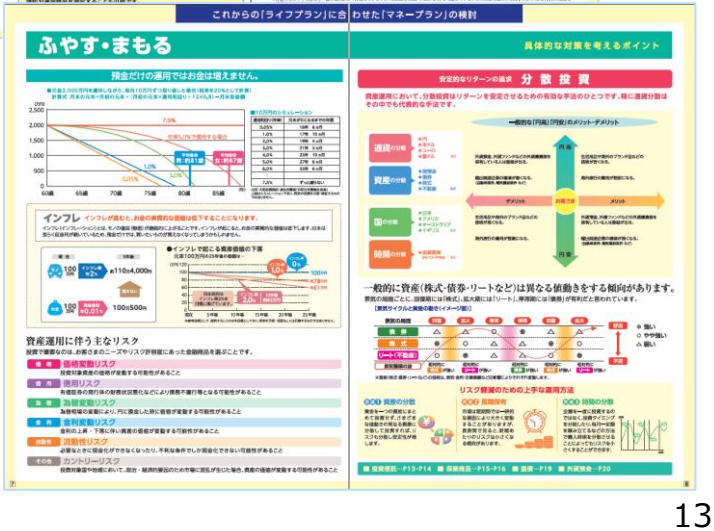
- 商品の内容やリスク、手数料、運用実績、換金・解約の条件などの重要な情報につきましては、お客さまの知識や経験に応じて、個別商品に関する重要情報シートや商品パンフレット、目論見書、商品概要書、モバイル端末などを活用し、わかりやすく丁寧な説明を行っております。
- 投資信託の委託会社や保険会社が作成した資料に加えて、当行オリジナルの情報提供資料として、ためる、ふやす・まもるなどのポイントやライフイベント、必要資金、各金融商品の仕組みなどを記載した「こうぎんマネープランガイド」やお客さまのご意向に合った商品を比較、検討していただくための「金融商品比較シート」をご用意しております。

【こうぎんマネープランガイド】



【金融商品比較シート】





12.お客さまの立場に立った情報のわかりやすい提供と手数料に関する説明【原則４・５】

- 当行ではお客さまの資産形成や金融リテラシー向上を目的として各種セミナーを積極的に開催しております。年間を通じて多様なテーマでの開催を継続しており、多くのお客さまにご参加いただいております。

【お客さま向けセミナー】

- 投資信託につきましては、当行のホームページにおいて、基本的な仕組みやリスク・分配金についてわかりやすく解説した「はじめての投資信託」や動画でわかる「世代別ＮＩＳＡ活用つみたてプラン」のほか、インターネット投資商品のご紹介や投信ファンド情報などのコンテンツをご用意しております。

【ホームページコンテンツ】

【ＮＩＳＡキャンペーン】

【こうぎんアプリ】

- お客さまがご負担いただく手数料等につきましては、契約締結前交付書面や目論見書、販売用資料、商品概要書等を使用し可能なものは料率に加え具体的な金額で説明を行うよう取組んでおります。また、投資信託につきましては当行ホームページからでもわかりやすくご覧になれる環境を整えております。

13.投資信託・生命保険アフターフォロー実施状況【原則６】

- 当行ではお客さま満足度を高めていくために、投資信託・生命保険をお申し込みいただいた後もアフターフォローを充実し、市場動向や運用状況等の情報提供に努めております。アフターフォローにつきましては、各支店で定期的に実施するとともに、その実施状況につきましては本部においてモニタリングしております。
- アフターフォローを継続することで、お客さまとの信頼関係を深め、お客さまの声を反映しながら、ニーズに沿った商品やサービスの提供に努めてまいります。

投 資 信 託

	対象件数	実施件数	実施率
２０２２年度	30,038	29,852	99.38%
２０２３年度	24,937	24,756	99.27%
２０２４年度	21,107	20,984	99.42%

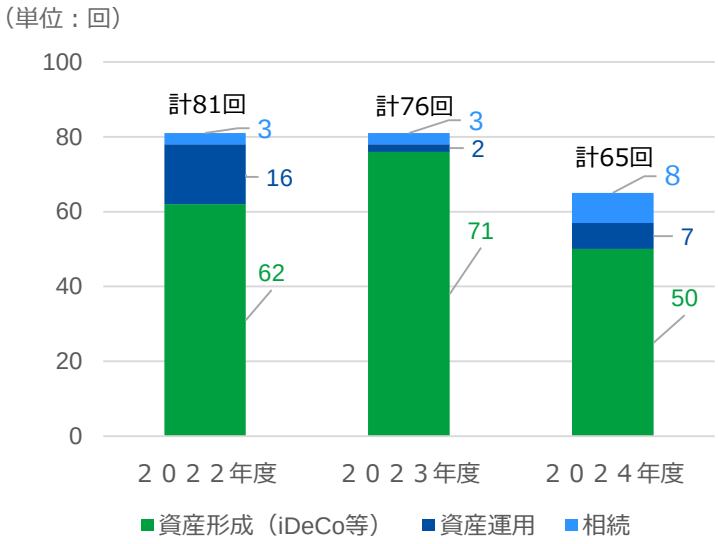
生 命 保 険

	対象件数	実施件数	実施率
２０２２年度	1,246	1,238	99.36%
２０２３年度	1,554	1,547	99.55%
２０２４年度	1,801	1,787	99.22%

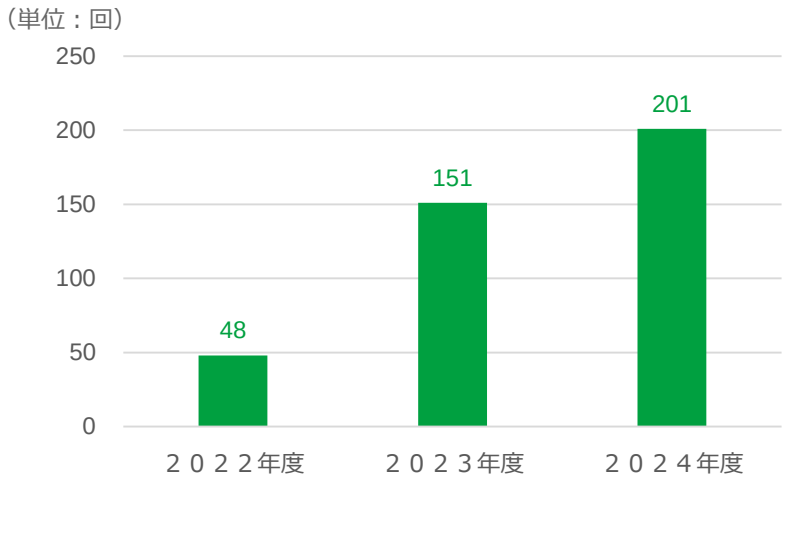
14.資産運用に係るお客さま向けセミナー、職域セミナーの実施回数【原則６】

- お客さまの資産運用への関心を高めていただくよう、資産形成を中心としたお客さま向けセミナーや職域セミナーを開催しております。これからも資産運用にお役立ていただくため、お客さまのニーズにあったセミナーを開催してまいります。

【お客さま向けセミナーの実施回数】



【職域セミナーの実施回数】

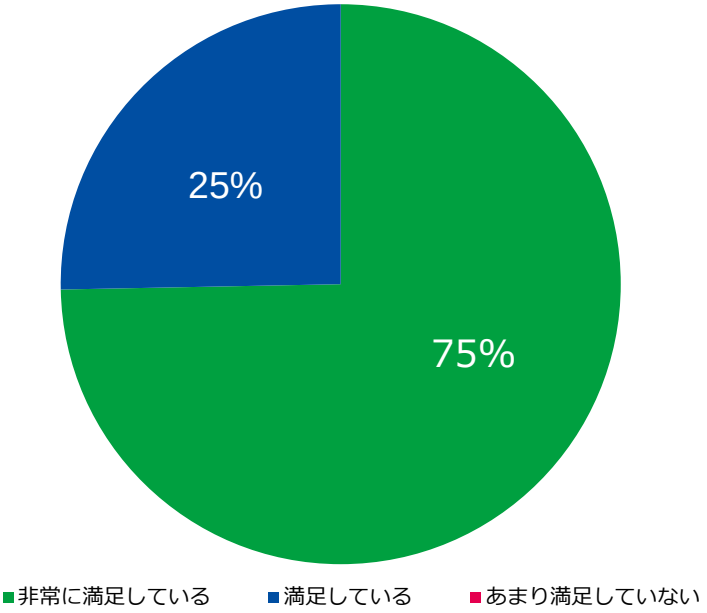


（参考）２０２５年新春セミナー風景

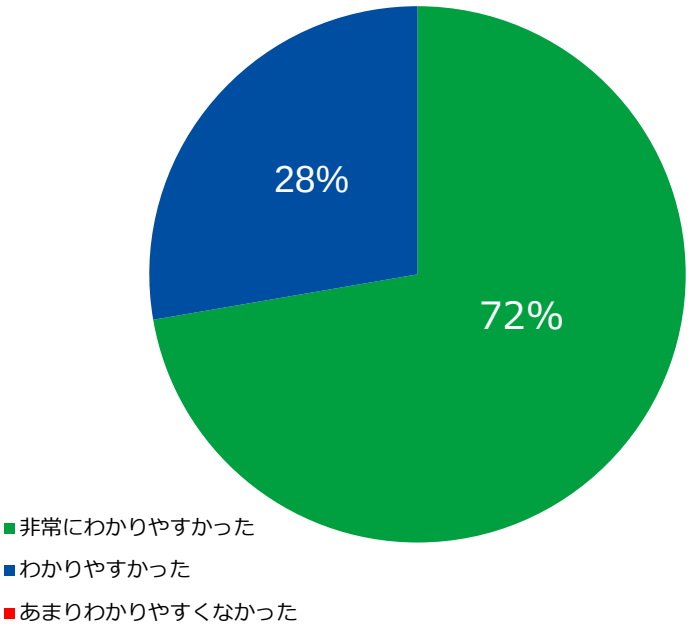
15.投資信託に関するお客さまアンケートの結果【原則６】

- お客さま本位の業務運営に関する取組状況を確認するため、以下の期間中に投資信託（積立投信を含む）を対面で販売した個人のお客さまへ無記名方式のアンケートを実施し、全体の満足度では１００%のお客さまからご満足いただく結果となりました。
- 今後も定期的にお客さまへのアンケートを実施させていただくことにより、お客さまの声をサービスの向上に活かしてまいります。

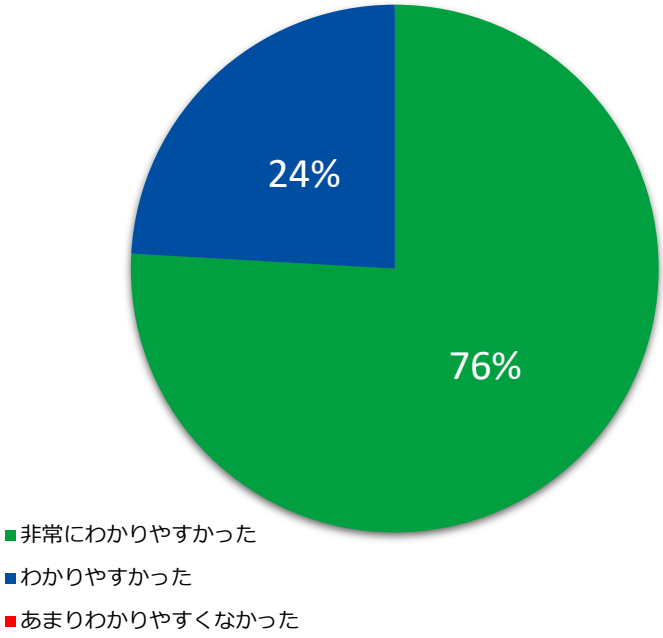
全体での満足度



商品内容の説明



手数料やリスクの説明

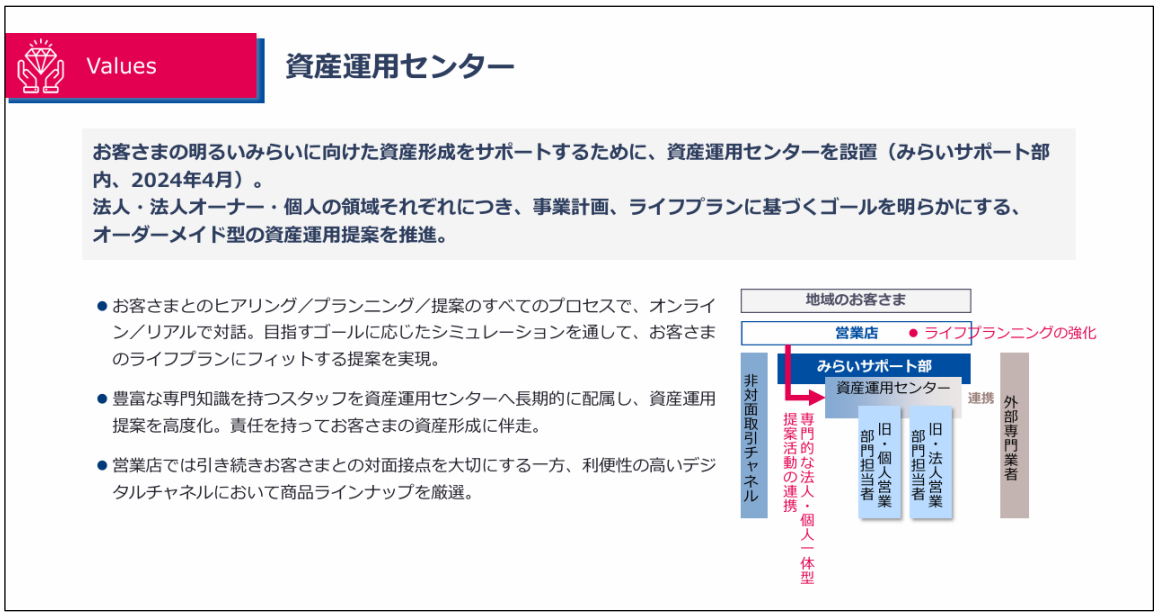


アンケート実施要領
対象者　：期間中に投資信託（積立投信を含む）を対面で販売した個人のお客さま
実施方法：無記名方式のアンケート葉書を手交し郵送返信を依頼
実施期間：２０２４年１１月１日～２０２５年１月３１日

お客さま本位のサービス提供に向けた態勢整備

❶ お客さま本位の営業活動と業務運営に資する施策立案

お客さま本位であることを最優先した営業活動を行っていくとともに、お客さま本位の業務運営に資する施策の立案を継続してまいります。
また、２０２４年４月よりオーダーメイド型の提案を行う資産運用センターを設置、高知市内周辺のみ配置していた地域担当のパーソナルアドバイザーを２０２５年４月から高知県内全域に拡大して配属いたします。
豊富な専門知識を持つパーソナルアドバイザーを各地域に配属することにより、法人・法人オーナー・個人の領域それぞれのニーズに即した高度な資産運用提案を行う態勢をより一層強化してまいります。



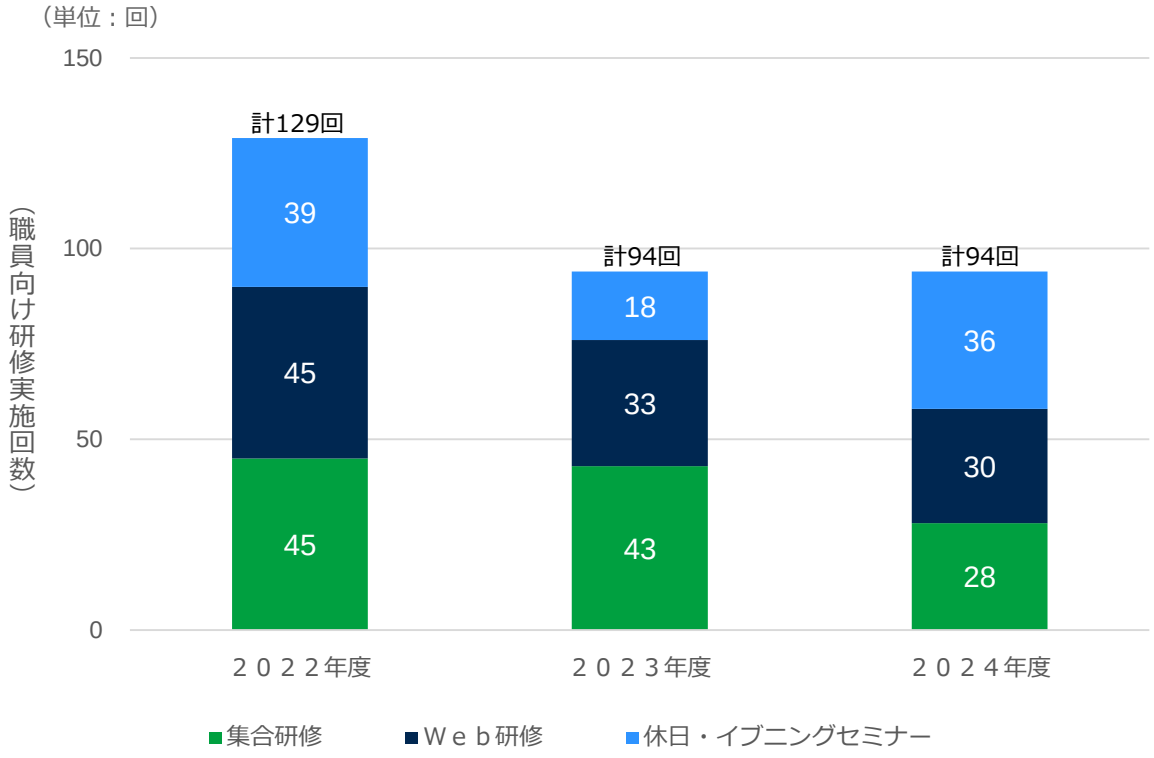
2024-2026年度 中期経営計画より

❷ 職員のコンサルティング力強化

商品知識の習得・向上とお客さまへの説明等のスキル向上を図るため、職員向けセミナーやロールプレイングを含む研修等の充実や外部専門資格の取得を奨励し、職員のコンサルティング力を強化してまいります。

16.職員向け研修実施回数【原則７】

- 職員向けに集合研修、Ｗｅｂ研修、休日・イブニングセミナーの実施、資格取得の推奨等を通じて、高度な専門知識を有する人材の育成に取り組んでおります。２０２４年度職員向け研修の実施回数は前年同様の９４回、また営業店での個別勉強会は前年から３０回増加させ８８回実施しました。 これからも職員のコンサルティング力を強化するため、積極的に研修機会の確保に努めてまいります。



17.ＦＰ２級以上取得者数【原則７】

- お客さまへのさまざまなご提案の質を向上させていくための資格であるファイナンシャルプランニング技能士資格取得者数は２０２５年３月末時点で２８４名（取得率４０．３%）となりました。

	2023年3月	2024年3月	2025年3月
取得者数	323	291	284
正社員数	733	715	704
取得率	44.1%	40.7%	40.3%